

疾病 (異常)	24 腹水症	
肉眼 所見	<ul style="list-style-type: none"> ・腹部が著しく膨満して波動感がみられ、腹部の皮膚は透明感のある色調となっている。 ・黄色透明あるいは血様色の腹水が肝腹膜嚢内に貯留し、時にゼラチン様物を入れることもある。 ・肝臓はうっ血、萎縮、硬化し、表面には凹凸が強く現れることが多く、時に肝被膜の白濁肥厚が認められる。 	
廃棄等 の根拠	別表第9	
		
腹部は著しく膨満している。	開腹後は、肝臓が軽度に萎縮、硬化しており、肝被膜の一部に白濁、肥厚がみられ、黄色腹水が貯留している。	肝臓はやや萎縮し、肝被膜の白濁、肥厚が認められる。
		
肝腹膜嚢内に血様色のゼラチン様物が認められる。	大腸菌症を伴った腹水症では、肝被膜の白濁肥厚と白色ゼラチン様物の付着が認められる。	